

## 平成17年度第1回三重県公衆衛生審議会中間評価部会

### - 議事要旨 -

日時：平成17年6月13日（金）

14：00～16：00

於 吉田山会館 1階特別会議室

出席者：富永委員、土井委員、藤井委員、杉田委員、佐甲委員、加藤委員

欠席者：鈴木委員

委員長選出について

・富永委員の委員長就任について、出席者の全会一致で承認された。

は委員、 は事務局

### - 審 議 -

(1) 三重県公衆衛生審議会中間評価部会の目的と役割について

「ヘルシーピープルみえ・21」の中間評価の方針や方向性の検討、アクションプランなども含めた今後の取組計画の提案などをご審議いただくようお願いしたい。

(2) 「ヘルシーピープルみえ・21」の93指標の達成状況について

資料1から資料4まで説明

三重県の取組について感想を述べると、条例が制定されている点は他県にも例がなく非常に評価できる。項目数が93と多いことは取組に広がりがある反面、ポイントがぼやける可能性がある。目標値が増加・減少と設定されており、具体的に数値化されていない点は不完全であると思う。そこで質問であるが、がん検診の受診率についてアンケートと老人保健事業と2つ指標があるが、アンケートは増加という目標で、老人保健事業の目標は具体的な %という数値になっている。この違いは何か。

老人保健事業についてはさかのぼって数値の動きを確認できるが、アンケートによる数値は前例がないため、目標値の具体的な設定が困難だったのではないかと考えている。

循環器系の数値の改善については、国の健康日本21でも改善の方向で、全国的な傾向でもあり、昔から全国的に取り組まれている運動に関する取組や、社会環境の変化による低下（“追い風”）の影響等の結果と考えられる。

数値目標の達成状況については、その数値の信頼度についても検討が必要な部分がある。改善されている項目の中には全国的な数値の変化より、かなり大きく数値が変化している項目がいくつかある。

老人保健のがん受診率については、その地区ごとと受ける層があり、それが入れ替わると受診率は大きく変動してしまうことがある。

三重県は健康寿命を指標においているが、健康寿命を因る基礎データとなる介護保険が変動期にあるため、その評価が難しいと思う。

そのほか、社会的な変化も様々な影響を及ぼしている。たとえば、冷蔵庫の普及により、塩漬けの保存をする必要がなくなり、その結果胃がんが減少しているし、衛生面の改善や出産率の低下、高齢出産等により子宮がんが減少している。

ヘルシーピープルみえ・21の考え方として、県の取組だけで数値を改善させるのではなく、社会全体で目標に取り組めればよいと考えている。したがって、この中間評価では数値が改善しているものには何が利いているのか、悪化しているものについてはウイークポイントを整理して、これらを県も含めた社会全体の今後の取組につなげていくことが大切であると考えている。

### （3）中間評価の方向性について

#### 資料5について説明

国（厚生労働省）の中間評価の方向性は、目標に向けて進んでいない部分を改善するという考え方で、問題点を見つけ改善するという方向で進んでいる。三重県の計画も同様に改善がテーマとなるようであるが、全体的な考え方について委員のみなさんの御意見を伺いたい。

ワーキングごとに評価を行うと、全体的な住民参加などの社会的リソースによる変化をとらえる視点というのが欠けてしまうので、この部分を考えるワーキングがあれば理想的だが、困難であれば、最初に各ワーキングに意識付けを行い、取組を整理していただくことでもある程度カバーできると思う。ぜひそういった部分に共通の意識を持って作業をお願いしたい。

ワーキングをスタートさせる前に、ワーキング全体で共通した目的や視点の意識付けを行うため、ワーキングの全体会議を行い、委員からもこの部分を説明していただいているかどうか。

ワーキングの作業というのはどうしても内部評価になってしまう。資料5にもパブリックコメントや公衆衛生審議会などからも意見をいただくような計画になっているが、積極的に健康づくりに取り組む外部の方からのコメントも取り入れるようにしていただきたい。

事務局としても、外部評価は重要と考えているので、可能であれば既にある県民の方のネットワークを活用して御意見をいただくような場に出向いていければと考えている。

国の中間評価では、現在ある70項目の目標の中から代表項目を選び出し、取り組むように検討しているところである。代表項目については、悪化している部分、インパクトの強い部分などを作業部会委員の中で選び出す形で選び出し、分野の垣根をはずして取り組む計画、アクションプランを考えているところである。三重県でも93項目の内、重点となる項目を絞り込み、重点項目についてアクションプランを策定してはどうか。

愛知県の音羽町が策定した計画が非常にすばらしいのでみなさんにも見ていただきたい。簡単ではあるが、領域ごとに目標と行政の取組と個人の心得と行動の目安が示されている。行政の役割や行動計画が簡潔にまとめられておりわかりやすい。

資料1 - 4にも昨年度検討したものが載せてあるが、これはどうか。

具体性が薄く領域にばらつきがあると思う。国の中間評価では「1に運動、2に食事、しっかり禁煙、5にクスリ」というようなわかりやすい標語のようなものも準備している。三重県も具体的なわかりやすいものがあると良いと思う。

ワーキングでの検討をふまえて部会で検討してはどうか。

悪化している項目などについても重点的に取り組む項目であると思う。

ヘルシーピープルみえ・21は行動の目標や、健康指標、最終目標のように体系的に整理されているので、ワーキングで指標ごとの評価を行っていく課程で代表項目もある程度具体化できるのではないか。

部会もワーキングもその構成に偏りがあるので、バランスよく項目を選び出すことが困難であると思う。例えば公衆衛生審議会等のような均等に委員が配置されているところで検討するのがよいのではないか。

代表項目の件については、ワーキングの作業というよりは、この部会や公衆衛生審議会の作業になると思いますので、その選定方法なども含めて今後検討していきたい。

ワーキングの作業としては他に必要な作業等はないか。

今回はあくまで中間評価であるので目標値との差や項目にこだわるのではなく、今までの取組と指標の増減とを関連づけ、整理し、今後の取組に結びつけることが中心となる。ただし、目標値の整理も重要であるので次期健康づくり計画では、整理された項目に目標値設定ができるよう、今後準備を進めていただきたい。

#### (4) その他

三重県では毎年年次報告書を作成しているが、これらの報告内容を取りまとめる作業も重要である。特に市町村からの評価のような外部評価を取りまとめることが重要である。

次回委員会については、ワーキング作業が終了後作業内容を取りまとめ委員会へ提案させていただく予定であるが、ワーキングの作業中にも御意見をいただきたい場面があると思われる。その際には個々にご連絡をとらせて頂く場合もあるがよろしくお願ひしたい。